



SDGs（エスディーゼイズ）とは？

近年、新聞やテレビ等のマスメディアや、小・中・高校の授業等でも取り上げられている SDGs。皆さんは内容をご存知ですか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは、Sustainable(持続可能な) Development(開発) Goals(目標)の略で、2015 年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択された 17 の目標のことです。国連加盟国の政府だけでなく、世界中で聴き取りを行い、オンライン調査で 1,000 万人以上が参加したのも含めて、世界が合意した目標です。

「Leave No One Behind(誰一人取り残さない)」をキーワードに、2030 年までを期限として、貧困や飢餓や暴力を撲滅し、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界を実現することを目指したものです。



この 17 の目標は、自分たち、そして子どもたちの未来をより良い方向へと変えるための目標です。私たち一人一人が幸せな未来を実現するため、まずは日常生活のなかで出来ることをご紹介します。

はじめてみよう！

SDGs 今日から出来る取組みを紹介



SDGs 今日からできる取り組みの紹介



例えば、生ごみの量を減らすこと。



生ごみは水分が多いため、ごみ処理に多くの費用がかかります。しっかりと水を切ることで、大幅に量を減らすことができます。また、食べきれぬ量を考えて食事を作ること、買いすぎを防ぐことで、家庭での食品ロス(本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと)を減らすことができます。日々の食品ロスを減らせば、食料資源の無駄遣いを防ぎ、その分を飢餓や栄養不足に苦しむ国へ分かち合うことができます。こうした生活の中でのちょっとした意識と行動が、環境問題・食料問題・貧困の解決に繋がります。

生ごみ 3キリ 運動

水キリ 生ごみの約8割は水分です！しっかりと水を切ろう！

食べキリ 食べ残しはもったいない！量を考えて作ろう！

使いキリ 買いすぎない！買ったものは使いきろう！



例えば、日々の買い物でエコ(マイ)バッグを使うこと。
プラスチック製品の使い方を見直し、ポイ捨てをしないこと。



レジ袋の有料化が始まり、エコバッグ・マイバッグの使用も私たちの生活に浸透してきました。レジ袋等のポイ捨てされたプラスチックごみは、どれだけ風化しても自然分解されません。最終的に海へ辿りつき、海洋によってより細かく砕け5mm以下の微小なマイクロプラスチックとなります。マイクロプラスチックはあまりに小さいので回収が困難で、海中を漂い、それを飲み込んだ海洋生物の生態系を破壊したりと、様々な環境問題を引き起こしています。そしてそれは海だけの問題ではなく、海から風に飛ばされ、陸上や大気を汚染するに至っています。

現在、政府は、レジ袋に続いて、弁当の容器、ストロー、スプーン、マドラーなどのプラスチック製品についても、有料化や再利用の対策を義務づける方針を明らかにしています。6月に国会で成立した新法「プラスチック資源循環促進法」に基づく規制で、来年4月の同法施行と同時の導入を目指しています。

また最近では、環境にやさしいプラスチックとして「バイオマスプラスチック」というものも普及しつつあります。これは生物由来の資源、主にじゃがいも、さとうきび、とうもろこし、大豆などの再生可能な植物をもとに作られています。バイオマスプラスチックを燃やすことで排出される二酸化炭素はそれらの光合成により吸収されるため、二酸化炭素の排出を抑えることができます。このバイオマスを素材にしたプラスチック製品には「バイオマスマーク」がつけられています。こういった環境に配慮したプラスチック製品を積極的に選ぶようにすることも私たちが出来る取り組みのひとつです。





例えば、ごみを分別して「リサイクル」すること。

ごみを分別してリサイクル(廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること)が出来るものはリサイクルをしよう！そうするとたくさんの良い効果があります！



環境を守る

資源をリサイクルすれば、工場でのエネルギーや水の使用、工場から出されるばい煙や汚水を減らすことができます。また、水銀や重金属など有害な物質をリサイクルすることにより、地球を汚染する物質の量を減らすことができます。

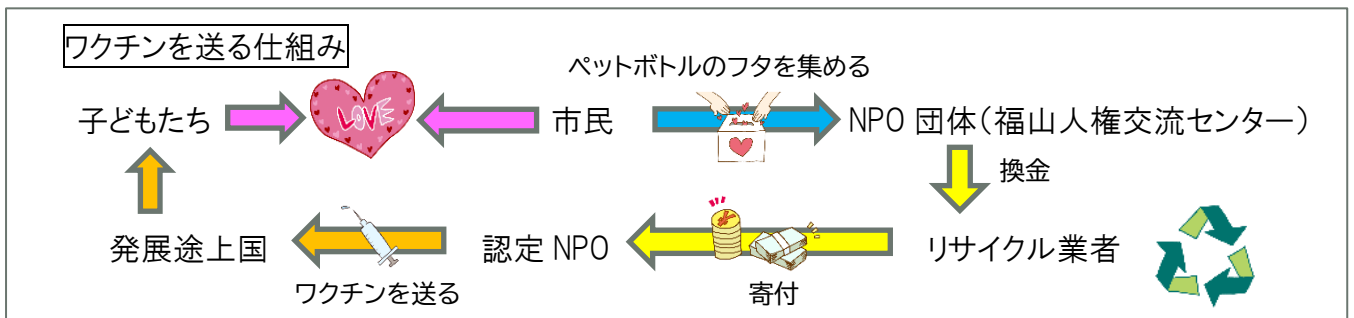
資源・エネルギーを節約できる

地球が持つ天然資源はそれぞれ限界があり、いつかは枯渇します。しかし資源をリサイクルすれば、天然資源の消費を抑えることができます。そしてリサイクルされた原料を使えば、天然資源から作るよりもエネルギーが少なく済みます。たとえばアルミなら、天然資源であるボーキサイトから作る場合のわずか3%のエネルギーですみます。

命を救う手助けができる

ペットボトルにはたいていフタがついていますが、回収の際には必ずフタを取り外すように自治体で指導されています。フタがついたままだとペットボトルのリサイクルに支障をきたすからです。

そして取り外したペットボトルのフタも、ポリプロピレンという物質で、リサイクルが可能です。このペットボトルのフタをリサイクルすることで、アフリカなどの発展途上国の伝染病に苦しむ人にワクチンを送る運動があります。福山市では2016年から参加を始め、これまでに約30万円が認定NPOに寄付されています。



新涯学区の取組みとしては、新涯公民館内に、ペットボトルのフタ、空き缶のプルトップ(福山市人権交流センターへ送ります)、古切手(福山市社会福祉協議会へ送ります)、使用済みのプリンターインクカートリッジ、ベルマーク(新涯小学校PTAが回収を行っています)の回収ボックスを設置しています。

また新涯学区の有志の方によるボランティア団体「新涯生活学校」さんは、毎月第3木曜日の午前中に公民館駐車場にて、古紙・新聞紙・段ボール・食品トレーの回収とリサイクル活動をされています。

福山市においても、使用済小型家電のリサイクルを行っています。使用済小型家電は、有用金属が多く含まれ「都市鉱山」とも言われています。それを再利用することは、資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減させることに繋がります。

持ち込める小型家電の種類については、福山市廃棄物対策課のホームページで確認してください。

福山市廃棄物対策課 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/kankyo/173745.html>



つまりは、ごみを減らすことが地球環境に良いこと！

ごみ減らし10か条

- 1 買い物にはエコバッグやマイバッグを持っていく
- 2 ごみになる過剰包装は断る(例 包む代わりに“シール”を貼るなど)
- 3 洗剤等は中身を詰め替え補充できるものを使う
- 4 使い捨て商品はなるべく買わない
- 5 食品トレーや牛乳パックは回収している店やボランティア団体に渡す
- 6 食べ残し、つくりすぎは避ける
- 7 ごみにする前に再使用する(例 広告の裏→メモ、タオル→ぞうきん)
- 8 物を大切に長く使う
- 9 まだ使えるものでいらぬものはフリーマーケット等へ出す
- 10 地域で行われるびんや缶、古紙等の集団回収に協力する



ごみを減らして地球の環境保全に取り組もう！

<参考資料>

福山市 廃棄物対策課 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/kankyo/1446.html>

環境保全部会 SDGs とこれまでの活動を振り返って

SDGsは、いつでもどこでも少し意識すれば成し得る内容。常にSDGsを意識した行動をしたいと思う。

部会長 小林(公衛委)

一人ひとりがひとつでも実行していけば、環境保全に繋がる。無理しない程度で取り組んでいきたい。

副部会長 関山(中)

この資料を参考にして、自分で出来ることは面倒くさながら実践し、町内にも賛同者を一人でも多くしていくようにすることが大切。

部会員 小曾根(東上)

地球と人類が長く生きていくためには、一人ひとりが環境問題を考えることが必要だと思う。

部会員 桑田(宮前)

国連サミットでSDGsが採択されたが、現状を変えるのはなかなか難しい。しかし一人ひとりが変わることでこれ以上悪くなるのを防ぐことはできる。特にゴミの問題に挑戦したいと思う。

部会員 梶原(沖)

地域で行われるリサイクル活動などに積極的に参加していくことを自分だけでなく周りにも伝えていきたいと思う。

部会員 野田(三丁目上)

これまでポンプ場の見学やゴミステーション用のポスターのラミネート、SDGsの取組み等今まで思わなかったことを色々と学ぶことが出来た。後々生かしていければと思う。

部会員 縄稚(五丁目)

まだまだゴミの分別が出来ずにゴミステーションにゴミを捨てている人が多い。環境問題に対して多くの人がごみ減らし10か条を守るといいと思う。

部会員 岩打(誠之)

食品は家族の人数、賞味・消費期限をよくみて、食するだけの数を買うようにする。

部会員 影本(西新涯一丁目)

小学校との環境標語の取組みは、町内の美化の一環になっている。今後も継続してほしいと思う。

部会員 早川(体育会)

SDGsへの取組みは、環境にいい取組みだと思う。一人ひとりが意識を持って取り組めばできると思う。自分もこれから取り組んでみようと思う。

部会員(事務局) 池原(公衛委)

新涯学区の環境保全活動を頑張ろうと思う。

部会員(事務局) 倉田(みぎわ会)